

## 令和4年度第1回七尾市総合教育会議 議事録

【日 時】 令和4年11月29日（火） 16時から17時まで

【場 所】 七尾市役所5階 災害対策本部室

【構成員】 七尾市長 茶谷 義隆、七尾市教育委員会教育長 黒崎 直人  
教育委員会教育長職務代理者 寺岡 卓子  
教育委員会委員 大森 重宜、播摩 正義、津田 康子

### 【事務局ほか職員】

企画振興部長 楠 利勝、教育部長 石川 利樹、  
企画政策課長 山本 昌文、教育総務課長 横川 俊充  
学校教育課長 山原 真吾、企画政策課課長補佐 立川 淳  
教育総務課課長補佐 見里 博之、スポーツ・文化課課長補佐 小林 義和  
国民文化祭準備室次長 小原 真紀子、

### 【議事】

- 1 開会
- 2 協議 (1) 第2期総合戦略 ふるさと教育の推進について  
(2) 令和5年度国民文化祭への取組みについて
- 3 閉会

### 【議事の経過】

#### 1 開会

##### 山本企画政策課長

ただいまから、令和4年度第1回総合教育会議を開会いたします。

##### 茶谷市長

令和4年度の第1回総合教育会議にお集まりいただき、ありがとうございます。これまで「七尾市総合教育会議」において、「七尾市教育大綱」の策定や教育行政の諸課題について委員の皆様方と意見を交換してまいりました。市の最上位計画である第2次七尾市総合計画を進めていく中で、七尾市教育大綱に掲げた基本理念を共有しながら、当市の教育行政を着実に進めてまいりたいと考えております。本日は、よろしく願いいたします。

#### 2 協議

(1) 第2期総合戦略 ふるさと教育の推進について

(2) 令和5年度国民文化祭への取組みについて

(石川教育部長説明)

##### 黒崎教育長

・これまでふるさと教育は、各学校長の裁量にゆだねられてきた。

- ・ふるさと教育は、7項目の七尾が学べるようパッケージ化した。
- ・ふるさと教育の進め方は、市内小中学校で同じ素材を使って学ぶ「ふるさと七尾」の学びと、地域の特色に応じた内容の「身近な学び」の二つに分けて取り組む。
- ・例えば、「身近な学び」は、中島小学校であればお熊甲祭、山王小学校や小丸山小学校等であれば青柏祭、というようなその地域の祭りなどを素材とする。
- ・子どもたちが、ふるさと教育を通して、ふるさと七尾愛を持ち、大人になって七尾の魅力を発信し、活躍できる子どもを育てていきたい。
- ・ふるさと教育は、意欲、集中力、問題発見力、問題解決力、自己指導能力、実行力など、見えない学力向上につながる。見えない学力は、今の社会が求める力でもある。
- ・ふるさと教育は、令和5年度からスタートする。

#### 大森委員

- ・今年、修学旅行で進学校の高校生が七尾市に来られた。参加した高校生に七尾の感想を聞くと、問題解決の題材になる素材があつて面白いと言っていた。
- ・私は、七尾の深みを発信すべきではないかと思う。七尾を訪れる方は、事前に情報をインターネット等で調べているので、我々は史実、古文書等にあるようなマニアックな深みのある情報を準備しておく必要がある。

#### 津田委員

- ・ふるさと教育を、カリキュラム化することはよいことだと思う。
- ・例えば、旧七尾地区の子どもたちが中島地区のお熊甲祭を見るというような地域間の交流が出来たらよいと思う。
- ・身近な地域の学びは、学校主体で行うより地域の方やPTAとも連携して行つてはどうか。

#### 寺岡委員

- ・大人でも、七尾のことを知らないことがあるので、大人も子どもと一緒に七尾の魅力を学ぶことが大切だと思う。
- ・ふるさと教育は、地域、家庭、学校で取り組むことが望ましいと思う。
- ・子どもたちが、七尾の魅力に興味を持つためには、大人自身が楽しんでいる姿を子どもたちに見せることが大切だと思う。

#### 播磨委員

- ・七尾市内にバス数台を止め、観光が出来る場所として七尾城がある。七尾城からの景色は、七尾の宝であることから子どもたちに登ってもらいたい。
- ・青柏祭、お熊甲祭、火祭りなどの伝統的な祭りは、祭りの当日にしか見るこ

- とができないが、ふるさと教育の機会に本物を見てもらいたい。
- ・七尾は港町であるので、港町らしさを活かしたまちづくりが大切だ。

#### 茶谷市長

- ・少子化、人口減少対策のための子育て支援策には、経済的支援の方向に向いている施策が多い。
- ・七尾市は、歴史・文化・自然が豊富であることから、子どもの感性を磨くのに良い場所だということを発信していきたい。

#### 大森委員

- ・過去の質問紙調査に、七尾の子どもは自然に触れ合わないというデータがあった。
- ・園庭がある保育園の園児は、体力、運動能力、認知能力が伸びるという研究結果があるそうです。

#### 茶谷市長

- ・子どもたちにとって、自然環境に触れる機会を作ることが大切だと思う。

#### 黒崎教育長

- ・以前、市内の方から「子どもだけで釣りをしているが、大丈夫なのか？」という連絡が学校よせられたことがあった。このような、考えを持たれている方もいることに疑問に感じた。

#### 寺岡委員

- ・自然がある場所にいかないと、自然と触れ合えないのは寂しいことだ。
- ・親が、学校の送り迎えをしてしまうことで、子どもたちが通学途中で出来るいろいろな体験、学びが出来なくなっている。

#### 播磨委員

- ・以前バーベキューをした時、薪に火をつける方法を知らない子どもがいたので、自然と触れ合う体験をすることは大事だと思う。

#### 茶谷市長

- ・今後、自然を生かした遊び場も必要になってくるのかと思う。

#### 茶谷市長

- ・国民文化祭、いしかわ百万石文化祭に関しても何かありますか。

#### 大森委員

- ・文化を推進するということは、2点ポイントがある。1点目は、観光的な発展を目指すこと、2点目は健全化を目指すことである。
- ・文化の継承を押し進めると、文化の健全化することになり、自由度を失う恐れがある。

#### 茶谷市長

- ・文化を守っていくことは大切だが、その時代に合わせて変化して行くことも文化の一つではないかなと思う。

#### 黒崎教育長

- ・七尾市としては、いしかわ百万石文化祭の期間を令和5年10月14日から11月26日の44日間に限定するのではなく、4月、5月から盛り上げていき、ピークを会期期間に持っていくという方法を考えている。
- ・今後、広く文化芸能に関わりのある団体に参加いただき、七尾バージョンの実行委員会を立ち上げる予定となっている。

#### 寺岡委員

- ・いしかわ百万石文化祭の七尾の事業を発信するには、キャッチコピーというか、キャッチフレーズがあった方が良いのではないかな。

#### 茶谷市長

- ・従来の国民文化祭は、県外から訪れる方が少ないと言われているが、今年の能登演劇堂の「いのちぼうにふろう物語」の公演では、全都道府県から訪れていたという実績がある。このことを参考にPRし、いしかわ百万石文化祭では、七尾の文化を県外に情報発信していきたい。

#### 津田委員

- ・国民文化祭と一緒に全国障害者芸術・文化祭もあるので、バリアフリー的な取り組みも入れてはどうか。

#### 茶谷市長

- ・本日はいろんなご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・ご意見は、しっかりと整理していきたいと思います。本日の議事は、これで終了します。

### 3 閉会

#### 山本企画政策課長

これもちまして、令和4年度第1回総合教育会議を閉会いたします。